

**記入例**

高压ガス製造施設等明細書

製造の目的		製造設備の種類		○定置・移動 ○ユニット型 ○非ユニット型		直接膨張式 ○間接式		○2段圧縮 元冷凍 ヒートポンプ		○往復動式 ○回転式		○水冷式 空冷式 蒸発式		1日の冷凍能力 46.8トン	
設計圧力 (MPa)		高压部 2.98		低压部 1.56		機器形式名 ○○○○		製造番号 ○○○○							
圧縮機	記号	形式	気筒			回転数 (rpm)	ピストン押のけ量 (m³/h)	冷凍能力 (トン)	原動機 (kW)	台数	安全装置の種類、口径 (mm)、作動圧力 (MPa)		製作所名		
	A	半密閉型	径 (mm)	行程 (mm)	数	1,450	191	24.3	37	2	DP26.5 OP1.6 S26.5mm 29.4		○○(株)		
容器及び凝縮器	記号	品名	形式	鏡板厚 外径×長さ×胴板厚×管板厚 (mm)			製作所名	台数	安全装置の種類、口径 (mm)、作動圧力 (MPa) 又は溶融温度 (°C)		主な材料				
	a	冷却器	シェルアンドチューブ型	101.6×5134.3×4.5×19 (25)			○○(株)	1	FP口径26.5mm 75°C		SUS316				
	b	凝縮器	クロスフィンコイル式	9.52×1745×2×144			○○(株)	1	FP口径26.5mm 75°C		C1220TS-SH				
	c	アキュムレータ	円筒	335.6×740×7.9×10			○○(株)	1	-		SUS316, SUS304				
容器の材料・溶接試験	記号	材料試験	溶接部機械試験				溶接部非破壊試験の種類	試験年月	試験場所						
	c		引張	自由曲げ	側曲げ	裏曲げ	衝撃	-	2021.3 ○○(株)						
耐圧気密試験	記号	製造番号	耐圧試験圧力 (MPa)		気密試験圧力 (MPa)		試験年月	試験場所							
	A	○○○○	高压部	低压部	高压部	低压部	2021.3	○○(株)							
	B														
	a	○○○○	-	5.0	-	3.1	2021.3	○○(株)							
	b	○○○○	5.0	-	3.1	-	2021.3	○○(株)							
c	○○○○	-	2.4	-	1.6	2021.3	○○(株)								
機器の気密試験	機器の構成 (記号で記入)		試験圧力 (MPa)		試験年月	試験場所	安全装置 上記以外の の	種類							
	A, a, b, c		高压部	低压部	2021.3	○○(株)		低压遮断装置							
								凍結防止装置 ポンプインターロック							
機器製造業者		所在地及び会社名		東京都○○区○○町○○丁目○○番○○号 ○○(株) 電話 03-○○○○○-○○○○○											

押印

(注) 「安全装置の種類」は略記号で記載する。バネ式安全弁：S、高压遮断スイッチ：HP、低压遮断スイッチ：LP、高低圧遮断スイッチ：DP、可溶栓：FP、油圧スイッチ：OP、断水リレー：WP

施設の位置及び構造(付近の状況図)並びにブライン等共通状況を示す系統図

(移動式の場合には、車両登録番号、車種(名称)等)

<p><b>【添付資料】</b></p> <p>① 事業所付近案内図</p> <p>② 製造施設付近状況図</p> <p>③ 製造施設建物図(平面図)</p> <p>④ 冷凍機械室内機器配置・配管・ダクト図(平面図) ※必要に応じて立面図</p> <p>⑤ 冷凍機のフローシート(冷媒ガス) (冷媒ガスは、色分け等で圧力区分が分かるようにしてください。 また、ブライン共通の冷凍機がある場合は、ブラインのフローシートも必要です。)</p> <p>⑥ 電気配線図又はインターロックフロー図</p> <p>⑦ 冷凍機姿図</p> <p>⑧ 基礎防振施工図</p> <p>⑨ 換気風量計算書</p> <p>⑩ (安全弁)冷媒ガス放出管の口径計算書</p>	<p>届出にあたっては、「高圧ガス製造許可申請等 手続要領(冷凍) 令和3年3月改定 東京 都環境局環境改善部環境保安課・東京都多摩環 境事務所管理課」を準用してください。</p> <p>平面図等で次の項目が色分け等によって分かるように してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・警戒標の設置状況、冷凍機械室の区画、出入口</li> <li>・操作空間の確保状況(操作空間の寸法を記載)</li> <li>・冷媒設備と火気との距離</li> <li>・機械換気装置の設置状況</li> <li>・(安全弁)冷媒ガス放出管の設置状況</li> <li>・消火設備の設置状況</li> <li>・冷媒ガス漏えい検知警報設備の設置状況</li> </ul>
--	--

施設の基準

付近の火気	火気の区分	火気有(ボイラー伝熱面積8m <sup>3</sup> )	最小距離	20.5m
警戒標	有(冷凍機械室・関係者以外立入禁止・火気厳禁×3か所、非常時措置書×1か所)			
滞留しない構造	機械換気装置(風量計算は別紙○参照)			
振動、衝撃、腐しよく 等により冷媒ガスが漏 えいしない構造	防振・衝撃対策(防振ゴム) 腐食に対しては防錆塗装			
保安上重要なバルブ	誤操作防止	安全弁元弁を固縛	表示	操作禁止表示札
配管の流体名、方向	冷媒の種類、流れ方向を表示、バルブには開閉方向及び開閉状態を表示			
(特記事項)				
冷媒の種類: R134a				
冷媒の充てん量: 100kg				
上記の他に、届出審査にあたり、特に留意していただきたい事項を記入してください。				
施設業者	所在地	東京都△△区△△町△丁目△番△号		
	会社名	△△△△(株)		
	冷凍空調施設工事 事業所認定番号	△△△△△△△△△△		
	電話番号	03-△△△△-△△△△	作成担当者名	△△部△△課 △△ △△

(注) 毒性ガスを冷媒とする施設については、「消火器」「放出管」「警報設備」「除害設備」について、「(特記事項)」の欄に記載すること。